

作成日 2024 年 3 月 20 日
(最終更新日 2024 年 3 月 20 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：GLP-1 受容体作動薬導入後の食事量変化に関する後ろ向き観察研究～
管理栄養士の視点から食事量変化に関連する要因を探る～

1. 研究の対象

2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに当院内分泌代謝・糖尿病内科で入院中に
GLP-1 受容体作動薬を導入もしくは製剤変更した患者さん

2. 研究期間

研究実施許可日 ～ 2026 年 1 月 1 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の
通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 5 月 1 日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

筑波大学附属病院内分泌代謝・糖尿病内科に入院中に GLP-1 受容体作動薬を導入、もしくは
製剤変更をした患者さんを対象に、導入前後の食事摂取量変化を評価し、どのような食事変更が
摂取量改善に繋がったかを調査することと、食事摂取量低下を起こしやすい患者さんの特性を評
価することを目的とします。加えて、入院前から退院後まで、患者さんがその時々どのようなお気
持ちを我々医療関係者にお話されたかを調査させていただきます。

食事摂取量が低下した際に有効な対処方法が明らかとなることで、栄養管理の立場から速やか
に食事摂取量を回復させる施策を医師、看護師等に提案することが可能となり、入院患者さんの
栄養管理の改善につながることを期待されます。

5. 研究方法

本研究では、研究期間中に適格基準を満たした患者さんを対象に、電子カルテから診療情報を
収集します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、入院中の診療録、看護師等の医療スタッフの記録、血液検査等の各種検査データ、
病院食の摂取量、栄養指導で得られた情報(入院前に行った食事療法、入院前の摂取エネルギー
推定量等)等を収集します。

7. 試料・情報の第三者への提供について

本研究で用いられた試料・情報の第三者への提供はありません。

8. 試料・情報の管理について責任を有する者

総務部医療支援課栄養管理室 管理栄養士 高橋弘文

9. 利益相反(企業等との利害関係)について

本研究の研究者等に、開示すべき利益相反はありません。

10. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院総務部医療支援課栄養管理室 担当高橋

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1 アネックス棟 1 階

連絡先：TEL：029-853-3578、FAX：029-853-3709

（栄養管理室，平日 8:30～17:15）

E-mail：takahashi.hirofumi.vi@ms.hosp.tsukuba.ac.jp